

防災教育としての小学生向け感染症対策教育～感染症を広めない！うつさない！～

新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 中川 沙織

1. 研究の背景

地震、水害などの自然災害においては、災害時はもちろんのこと、避難後の長期間の避難所生活において衛生状態を保つことは難しく、感染症対策を行うことはとても重要であり、厚生労働省からも様々なパンフレットが作成されています。

しかしながら、小学生や幼児においては、毎年各地域において小学校や保育園、幼稚園などでの集団感染が報告されているように感染症対策は難しく、大人が注意していても子ども間において避難所でさらに広めてしまう可能性があります。

そこで本事業では、幼児や小学生でも文字が少なく、具体的な絵で分かりやすい感染症対策のパンフレットを作成し、さらに実験教室を通して、災害時における子ども向け感染症対策の教育を行うものです。

2. 実施内容

2-1. 感染症対策冊子の作成

子どもでも、また文字が読めなくても分かりやすいような手洗い方法などの絵を多用し、視覚から分かる感染症対策の冊子を作成した（A5版、8ページ）。この冊子は、新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科（中川 沙織、学科長 渡邊 博昭、高野 操、前山 佳彦、佐々木 一真、涌井 安奈）、新潟薬科大学（継田 雅美、桑原 直子、樋口 元弥）で作成し、子どもでも分かりやすいように工夫して作成した。



感染症対策冊子

2-2. 感染症対策冊子の配布（被災した地域への配布）

・坂井輪地区公民館への配布

2025年8月8日に、2024年1月1日に起きた能登地震で被害を受けた坂新潟市西区坂井輪公民館において感染症対策冊子50部の贈呈式（石川館長）を行いました。また、この坂井輪公民館において、同日に依頼を受けて、「サイエンスミステリー！ケーキを食べたのは誰だ！？」の実験教室を開催し、その参加者にも感染症対策冊子を配布しました(20部)。

1. 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
ブログ <https://ct.nuhw.ac.jp/news/587/>



坂井輪地区児童館での贈呈式

・村上市立保内小学校への配布

2025年9月4日に、2022年8月3日の新潟県村上市地域の豪雨災害で浸水した村上市立保内小学校校長室において感染症対策冊子70冊の贈呈式（見原校長、6年生代表4名）を行いました。



村上市立保内小学校での説明の様子



村上市立保内小学校贈呈式

これらの様子は、新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科のInstagramおよびブログに掲載いたしました。

1. 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
ブログ

https://ct.nuhw.ac.jp/news/598/?_gl=1*14uk55p*_gcl_au*MTM2Mjc0MTc1OS4xNzYzMDc1Mjk42.

2. 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
Instagram

https://www.instagram.com/p/DOXochBkhhM/?img_index=1

・新潟市子ども創造センター

新潟医療福祉大学のサイエンススクール

2025年10月5日に新潟市子ども創造センターにおいて薬の不思議の実験教室を開催し、参加者（約20名）に感染症対策冊子を配布しました。

1. 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
ブログ

https://ct.nuhw.ac.jp/news/612/?_gl=1*cig8ts*_gcl_au*MTM2Mjc0MTc1OS4xNzYzMDc1Mjk4

2. 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
Instagram

https://www.instagram.com/p/DOU0cZgkbb/?img_index=1

・長岡市理科教育センター

科学探求塾～医療編～

1. くすりのふしぎ(2025年12月6日)

2. 環境と人体、蛍光のひみつ(2025年12月7日)

2025年12月6日、7日と長岡市理科教育センターで小学生向け実験教室を行い、参加者に感染症対策冊子を配布しました(10部程度)。

2-3. 感染症対策の実験教室開催と感染症対策冊子の配布

実験教室開催にあたり、チラシの作成、申し込みフォームの作成、新潟市教育委員会、一般社団法人メディカルサイエンスアカデミーの後援申請を行いました。新潟市教育委員会およびメディカルサイエンスアカデミーからは8月1日付で後援が許可され、チラシの印刷を行いました。新潟医療福祉大学において8月29日よりホームページの公開、プレスリリースを行いました。

1.新潟医療福祉大学ホームページ

<https://www.nuhw.ac.jp/news/62121>

2.NSGグループホームページ ニュース&トピックス

<https://www.nsg.gr.jp/blog/nuhw-science-2509/>

3.PR-TIMES プレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001799.000032951.html>

4.毎日新聞

<https://mainichi.jp/articles/20250902/pr2/00m/020/634000c>

5.日本経済新聞

https://www.nikkei.com/compass/content/PRTKDB000001799_000032951/preview

さらに、9月2-3日に新潟市内（大学のある北区を中心に）の小学校に実験教室の案内を郵送しました（4000部）。

11月上旬に、定員60名（午前午後ともに各30名）に対し、63名で定員以上となり、受付を締め切りました。しかしながら、ちょうどそのころ、新潟市内の小学校でインフルエンザが蔓延しており、前日までにキャンセルがあり、午前の部では小学1年生7名、2年生6名、3年生7名、4年生6名、5年生5名、6年生1名の32名の申し込み、小学1年生5名、2年生6名、3年生3名、4年生6名、5年生2名、6年生2名の24名の申し込みでした。さらに、インフルエンザによる当日キャンセルが相次ぎ、最終的に当日は52名の参加者となりました。

2026年11月16日（日）に午前コース（10:00～12:00）、午後コース（13:30～15:30）とそれぞれ2回開催しました。

実験内容としては、30分ほどの講義（感染症冊子の内容、感染症の話、実験内容）を行った後に、3つの実験を行いました。1.人体模型をつかって

ヒトの体のなかをのぞいて感染症をみつけよう！ 2.きれいに手を洗えているかチェックしよう！ 3.（おまけの実験）バスボールを作ってみよう！の3つを行いました。

1.では、どんな感染症があるかを講義で理解してもらい、実際に人体模型を使って体内の構造を見ながら、ヘリコバクター・ピロリ（胃炎、胃がん）、大腸菌（膀胱炎）、肺炎球菌、新型コロナウイルス（肺炎）の病気を見つける実験を行いました。実験の最後に病気を見つけた小学生全員に臓器シールをプレゼントしました。2では、手に蛍光が含まれたクリームをぬっていつも通りの方法で手を石鹸で洗い、蛍光ライト（ブラックボックス）を使って洗い残しがないか確認し、次に感染症対策冊子を見ながら丁寧に洗いました。3つ目はおまけの実験として、おうちのお風呂でしっかり実験でぬったクリームを落としてねという気持ちを込めて、バスボールを作り、お土産としました。

当日は、学生スタッフ4名（臨床技術学科2年生2名、3年生2名）、教員4名の計8名体制で行いました。

なお、万が一に備えてイベント保険の加入、アレルギーの確認を行いました。



実験教室のチラシ



～感染症を広めない！うつさない！～

- ・人体模型をつかってヒトの体のなかをのぞいて感染症をみつけよう！
- ・きれいに手を洗えているかチェックしよう！
- ・パスボールを作ってみよう！

本企画は、(一社)北陸地域づくり協会の研究助成により実施します。



氏名(なまえ)：

新潟医療福祉大学

1. 人体模型をつかってヒトの体のなかをのぞいて感染症をみつけよう！
人体もけいをばらばらにしてみよう！

さらに、人体もけいには、3つの感染症の病気がかくされています。さかしてきましょう！

新型コロナウイルス感染症
…肺炎や上気道(のどのあく)の炎症が起きています。

ヘルペスウイルス
…胃に細菌(ヘルペクター・ピロリ)が感染して胃炎(いまん)が起きています。

ほうこうえん
…おしっこをかきんしずることで、おんべん中の大腸菌が感染して炎症が起きています。わかい女の人に多い。

感染症とは、目に見えない微生物がヒトの体の中に入ってきて、病気を起すことです。

内容：人体模型をつかってヒトの体のなかをのぞいて感染症をみつけよう！



人体もけいをばらばらにしてみよう！
どうきをかいてみよう！

食べ物かとおるどうき(しょうかきけい)

食べ物をバラバラにする
手ぬいをするどうき

ちに関わるどうき **さんぞ(O₂)とにさんかたんぞ(CO₂)をこうかんするどうき**

おしっこをつくるどうき **うんちをつくるどうき**

感染症は見つかったかな？
見つかったものに印をつけよう！

新型コロナウイルス感染症

ヘルペクター・ピロリ感染症 チェック欄

大腸菌(ほうこうえん)

2. きれいに手を洗えているかチェックしよう！

- ①薬液をつける。
- ②UVライトにあてて薬液を付けたところ(よこれ)を確認する。
- ③いつものように手洗いをする。
- ④UVライトにあてて、どこがキレイになってどこが汚れているか確認する。
- ⑤冊子(以下イラスト)と同じようにしっかり洗う。



⑥UVライトでキレイになったことを確認。
おうちでキレイになるようにお風呂のバスボール(バスボム)を作ってみよう！(おまけの実験)

チェック欄

内容：人体模型をつかってヒトの体のなかをのぞいて感染症をみつけよう！



内容：きれいに手を洗えているかをチェックしよう！



内容：きれいに手を洗えているかをチェックしよう！



当日配布した実験ノートの一部

実験教室終了後に行ったアンケート結果としては、52名中49名が大変楽しかったと回答しており(94.2%以上)、3名は楽しかったと回答(100%)し、楽しくなかったは、0名であり、概ね小学生の子どもたちに好印象の実験教室だったと考えられます。

また、新潟日報社に取材に来ていただき、新潟日報 2025年11月17日 朝刊 地域 10ページ「正しい手洗い学んだよ 小学生の感染症対策講座」のタイトルで掲載していただいた。また、2025年11月17日 FM にいがた FM NIIGATA-NEWS 18:55～19:00 に新潟日報ニュースでも小学生の感染症対策講座として取り上げていただきました。

また、新潟医療福祉大学でも開催報告をいたしました。

1 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科ブログ

<https://ct.nuhw.ac.jp/news/617/>



3. 今後の展望

作成した感染症対策冊子であるが、具体的な絵で分かりやすい感染症対策となっています。そのため、配布冊子はもちろんのこと、避難所などで掲示できるような大きなポスターとして作成し、小学校や避難所となる公民館等に配布することで、有事の際に子どもだけではなく、高齢者や様々な人にも感染症対策を行うことができるようになると考えられます。

さらに子どもたちには、お薬や食物アレルギーについて必要事項を記入できる「災害時安心カード」を作成していきたいと考えています。これまでも行っている子ども向け感染症、医療やお薬の実験教室を今後も行っていき、災害時における子ども向けの感染症および医療の教育を行っていきたいと考えています。